

ゲスト ; Ms. Margherita De Giorgi (Italy)

テーマ : “What is sustainable fashion?”

Few examples from Italy and Japan”

### お話の背景 (Background)

コミュニティーに興味を持ち、コミュニティーが自己を表現しているアートやクラフトについて学んだ。

ダンスの勉強を始め、振付やコンテンポラリー・ダンスなどに携わったが、もっと知りたくなり、コミュニティー、クラフト、デザイン、アートについて学んだ。

ほぼ 1 年半前に来日し、神戸芸術工科大学で学び、昨年 10 月から京都大学の客員研究員として研究している。



### What is Sustainable fashion?

私たちは衣服を身にまとうが、衣服を選択する。

研究者として考えてみると、フィロソフィー、歴史的な意味合いは何か？

ファッションとかデザインは、現在世界が直面している環境、政治、社会的問題とどのように関係しているのか？

Sustainability は、極めて大きな問題であり、この 10 年位は、デザイナー、研究者、ビジネスオーナーには大きな課題である。

私は、日本でのクラフトとデザインに焦点を当て、同時に学際文化的なネットワークを通じてイタリアの事例などを研究しているので紹介してみたい。

この 2 月には、私が企画した京都でのコンファレンスに、イタリアのいくつかの会社を招待しています。

皆さん美しい物にはご興味がおありだと思います。

そして、貴女方はグッチやシャネルのカタログを見たいと考えていると思います。

今回は、Excellence について考えてみたい。

ビジネス、伝統、テクノロジー、新しいアイデアの面から、21 世紀の Key word として Excellence が重要だと考えます。

Excellence の候補として、スモール・ビジネスや NPO がオプションの一つとして出てきます。

**Fashion** ; 大きな汚染源でもある

環境負荷 ;

- ・ 土壌、空気、水の汚染
- ・ 全炭素排出の 10%を占めている。
- ・ 過剰生産により 15,000,000 着の衣服が捨てられている。
- ・ 合成繊維による資源消費と非分解性ゆえいつまでも残るといった問題。
- ・ 土壌汚染による動植物への影響

社会問題 ; 先進国による途上国からの搾取につながる例が多い。

- ・ 低所得層を生み出す。
- ・ 子供の労働
- ・ 劣悪な労働環境
- ・ 途上国の産業は打撃を受け、競争力を失う。
- ・ モノポリー生産による土地の収用と独占
- ・ 非現実的な美的標準 (スーパー・モデル)  
世界の 3%にしか通用しないレベルのもの。

次に、多くの問題点があるにも拘わらず、何故、ファッションに興味を持つのかについてお話ししていきます。

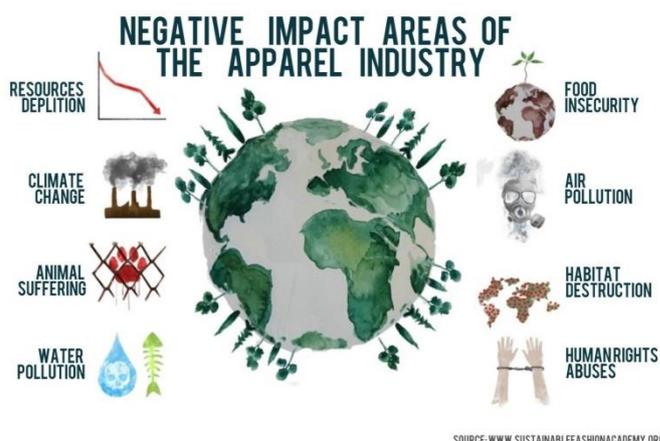
**Fast Fashion** ; 15 年前以降急速に成長してきた。( Zara など)

- ・ 大量生産で世界中に同じものを供給
- ・ 短期間で変る ; 数か月ないし数週間
- ・ 安価な賃金に支えられた安価な商品

2013 年 4 月 24 日に起こったバングラデシュの古い大きなビルであった Rana Plaza が崩壊し、1,134 人の犠牲者と 2,500 人位の負傷者が出た。

そこで働いていた従業員は数週間前からそこでの生産はやめるべきだと提言していたが、西側の企業は生産を続行していて、崩壊が起こった。

2015 年 True Cost というドキュメンタリーが制作され、Fast Fashion を支えている途上国の土壌汚染や戦争や過酷な労働などが描かれている。



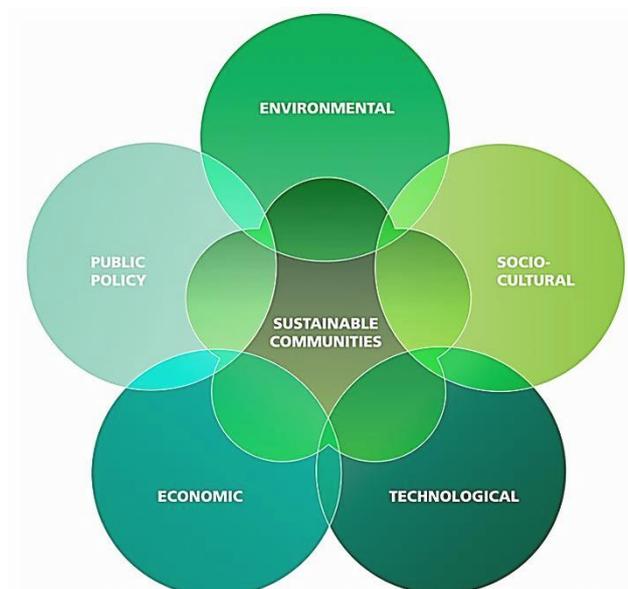
取りあげている。

## What is Sustainability?

右図のような枠組みで考えられる。

### 環境と社会

- ・消費を減らしていく。  
少なく買い、長く使う。
- ・生分解性材料を使用する。
- ・天然資源を大切ににする。
- ・動物を大切ににする。
- ・社会正義と等質性を大切に  
する。



## Sustainable Fashion

- ・自分で作る。
- ・天然素材（綿、絹、麻、亜麻）やテクノロジーが生み出すエコ・フレンドな材料を使用する。
- ・フェア・トレード（コーヒー、チョコレート、米などで多い）ファッション分野でも広げていくべきである。
- ・リサイクル；何回でも使う
- ・アップ・サイクリング  
リサイクルと似ているが異なるものに作り変える。
- ・中古品市場
- ・貸衣装や共有衣料（友達同士で融通して使うなど）

## Circular Fashion

資源をリサイクルやリユースによって有効に何回でも長く使う。

前置きはこれぐらいにして、もう少し具体的なお話をします。

今日、ビッグブランドである H&M、シャネル、ギャップなどもグリーン・エコノミーに取り組んでいます。生産システムは旧来のままです。

## 生産という観点から

生産システムまで変えた取り組みに焦点を絞ってみます。

私が研究してきたイタリアの例について紹介します。

スイスやオーストリアに近いボルツアーノで若手の人たちが立ち上げた RE-BELLO では 100%再生ナイロンを使用しています。

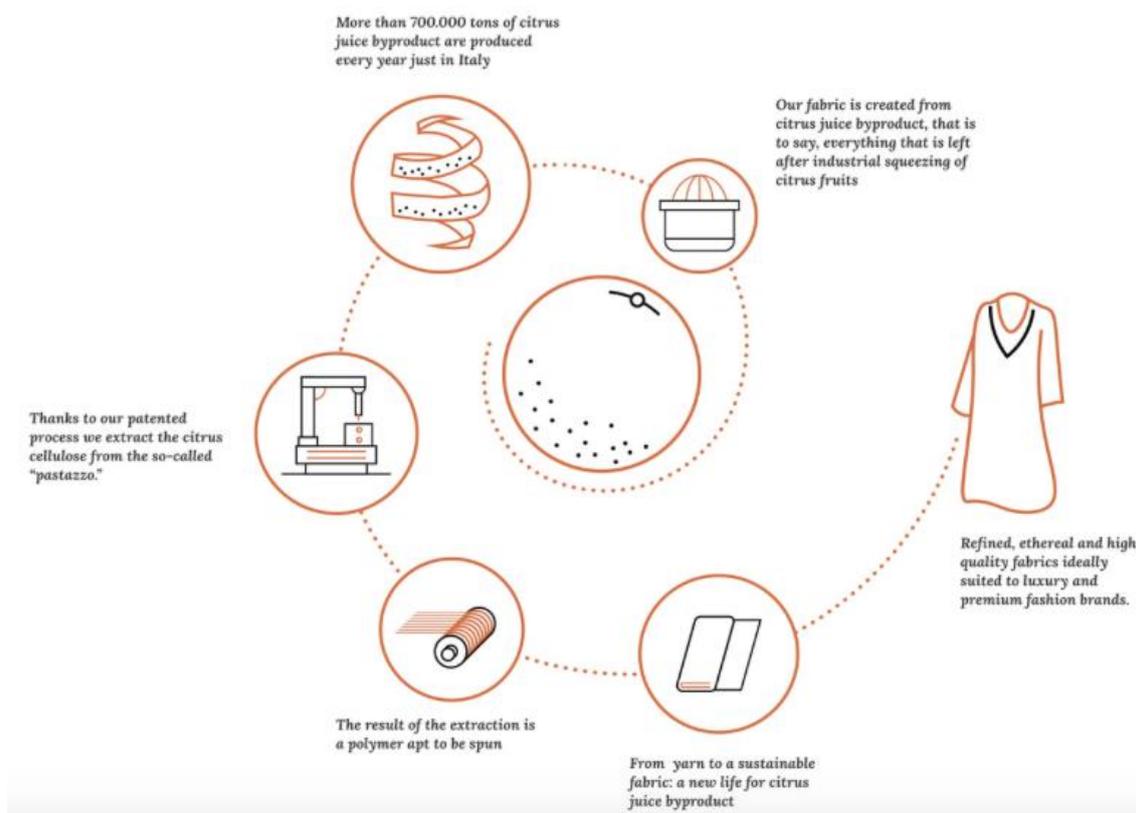
<https://www.re-bello.com/en/>

動物由来食品を食べないヴィーガン(絶対菜食主義)を御存じだと思いますが、それと同じように動物由来の原料(羊毛や絹)を使わず、さらにフェア・トレードを掲げている TU&TU があります。 <http://www.tuetu.it/>

REVEYÉ という類似のコンセプトのブランドがあります。

<https://www.reveye.it>

柑橘類の皮の繊維を使った織物を創り上げ、サルヴァトーレ・フェラガモに供給している Orange Fiber という会社があります。



<http://orangefiber.it>

社会的な取り組みという観点から

Progetto Quid ONLUS はヴェローナにあるマックス・マーラーなどに供給する NPO ですが、弱者の女性を雇用するという考え方で運営されています。 <http://progettoquid.it>

Talking Hands Design for migration はヴェニスに近く伝統的にアフリカからの移民が数多く通過する地点にある。

ワーク・ショップ的な役割と移民の力を生かし、彼らの助けにもなる取り組みを実践している。

<http://designformigration.com>



イタリアと日本は工芸という観点では古い伝統を持っており、地方に根差した多様性を持つという点で共通点がある。

最後に日本の例についてお話しします。

People Treeはフェア・トレードを掲げて1991年に東京で立ち上げられた。

Safia Minneyは自らバングラデッシュに足を運び、請負業者や雇用者を選び立ち上げた。

<https://www.peopletree.co.uk>

Usaatoは佐藤さんという日本人がはじめたタイのチェンマイの小さなコミュニティの原材料を使ってハンド・メイドで創り上げたブランドである。

<http://www.usaato.com>

一番最後に **Reborn Kyoto** を紹介します。

1797 年以來、日本の着物を寄贈してもらい、途上国の方々に洋裁を指導して、リメイクしてもらい、それを販売するという独自の試みを通して、途上国の支援をしている NPO である。

<http://www.reborn-kyoto.org/>

